

# 会議結果のお知らせ

## 1 開催した会議の名称

平成 29 年度第 4 回岩手県大規模事業評価専門委員会

## 2 開催した日時

平成 29 年 10 月 30 日（月）13：30～17：00

## 3 開催場所

エスポワールいわて 3 階 特別ホール

## 4 出席委員

8 名中 7 名

## 5 専門委員会議題等

### (1) 議題

#### ア 大規模施設整備事業事前評価【公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業】

##### <諮問審議>

- 政策推進室から「公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業」の事前評価に係る諮問等について説明。
- 引き続き、廃棄物特別対策室から事前評価内容について説明があった。
- その後、質疑等が行われ、その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は以下のとおりとなった。
  - ・いわてクリーンセンターで処理する廃棄物の発生から最終処分に至る流れ
  - ・いわてクリーンセンターで処理する廃棄物の主な品目別の処理量及び今後の県内の廃棄物の見通し
  - ・最終候補地選定の経緯及び選定過程における戦略的環境アセスメントなど自然環境への配慮の考え方
  - ・5 か所の整備候補地から最終候補地を選定した理由
  - ・いわてクリーンセンターの経営状況と新処分場における設備投資の回収の方法
  - ・新処分場の建設時及び運営時における自然環境への配慮

#### ■専門委員からの主な質疑等は次のとおり

(質疑)

現在稼働中の「いわてクリーンセンター」の効率性はどのように担保されているのか。

(回答)

理事会において、随時協議している。

(質疑)

最終的な候補地の選定理由について、具体的な記載があってもいいのではないかと。

(回答)

選定の観点等については、次回以降説明させていただく。

#### イ 大規模施設整備事業事前評価【みたけ学園、みたけの園整備事業】〈諮問審議〉

○政策推進室から「みたけ学園、みたけの園整備事業」の事前評価に係る諮問等について説明。

○引き続き、障がい保健福祉課から事前評価内容について説明があった。

○その後、質疑等が行われ、その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は以下のとおりとなった。

- ・新施設がユニット型個室となることに伴うプライバシー確保などの機能強化便益の試算
- ・県立療育センターの移転跡地を他用途に利用した場合の便益を費用として再試算
- ・維持管理費用の再試算
- ・ユニット型個室と通常個室の違いがわかるような写真・図面等の添付
- ・滝沢市に整備するみたけの園Bが通常個室でありユニット型個室になっていない理由

#### ■専門委員からの主な質疑等は次のとおり

(質疑)

新施設がユニット型個室となることに伴うプライバシー確保などの機能強化の便益は、資料で示されている820円/日では安すぎる。病院の差額ベッド代等と比べると大きな開きがあるので、再考すること。

(回答)

次回以降、整理して再説明する。

(意見)

県立療育センターの移転跡地に本施設を建設することから土地取得の費用は発生しないとの説明であったが、その土地を別の用途に利用した場合に得られる便益を考慮する必要がある。必ずコストはかかることになるので、費用について再考すること。

(意見)

維持管理費用は誰が運営主体となってもかかるコストであることから、分析の中に盛り込むように再考すること。

#### ウ 大規模施設整備事業事前評価【岩手県立福岡工業高等学校改築等事業】〈諮問審議〉

○政策推進室から、「岩手県立福岡工業高等学校改築等事業」の事前評価に係る諮問等について説明。

○引き続き、教育企画室から事前評価内容について説明があった。

○その後、質疑等が行われ、その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は以下のとおりとなった。

- ・この規模で、この場所に本施設が必要だという理由
- ・各施設の用途（配置図に書き加えるような形で）

#### ■専門委員からの主な質疑等は次のとおり

（質疑）

学校の建て替えのタイミング、耐震補強のタイミングについて長期ビジョンを持っているか。

（回答）

基本的には50年程度で改築をすることとしている。また、「公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画を策定し、今後の中長期的な整備に活用することとしており、現在、県立学校の個別施設の状況調査を行っている。また、「県立高等学校再編計画」に基づき、今後の改築等を検討することとしている。

（質疑）

今回解体しない建物はそのまま使用するのか。

（回答）

全て使用する。耐震基準を満たしていない一部の箇所については、来年度に耐震補強する。

#### エ 大規模公共事業再評価【岩崎川広域河川改修事業】＜諮問審議＞

- 政策推進室から、「岩崎川広域河川改修事業」の事前評価に係る諮問等について説明。
- 引き続き、河川課から事前評価内容について説明があった。
- その後、質疑等が行われ、その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項はなかった。

#### ■専門委員からの主な質疑等は次のとおり

（質疑）

公園の整備にあたって、汚染土壌は遮水シートで囲うとのことだが、汚染土壌の周辺で子供が遊んでも問題ないのか。

（回答）

本ケースは土壌の溶出量基準を超過したものであり、地下水を摂取するとリスクがあるが、含有量基準は超過しておらず、土壌に触れたりすることによる危険性はないものである。従って、公園付近で地下水を摂取しない限りは安全であると考えており、地域住民向けの説明会でもご理解をいただいている。

#### オ 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

- 事務局から大規模事業事後評価実施計画について説明があり、事務局案が了承された。

## カ 平成 30 年度の公共事業評価及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

○事務局から、東日本大震災津波からの復旧・復興業務に配慮した、平成 30 年度の再評価及び事後評価事務の簡素化措置について説明があり、質問・意見等は出されなかった。

## キ 現地調査行程（案）について

事務局から、「公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業」に関連し、現在稼働中の「いわてクリーンセンター」を視察する案を提示し、了承された。

### (2) 会議資料

- 資料 No. 1 諮問書（写し）
- 資料 No. 2 公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業 事前評価調書等
- 資料 No. 3 みたけ学園・みたけの園整備事業 事前評価調書等
- 資料 No. 4 岩手県立福岡工業高等学校改築等事業 事前評価調書等
- 資料 No. 5 岩崎川広域河川改修事業 再評価調書等
- 資料 No. 6 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について
- 資料 No. 7 現地調査行程（案）

参考資料 平成 30 年度の公共事業評価及び大規模事業評価の進め方等について

※会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

## 6 傍聴人数

一般 1名  
報道 3社

## 7 問い合わせ先

盛岡市内丸 10 番 1 号

岩手県政策地域部政策推進室評価担当 TEL019-629-5181 FAX019-629-5254

## 8 ホームページアドレス

<http://www.pref.iwate.jp/seisaku/hyouka/hyoukasenmon/55940/060197.html>

## 9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。